物産雜說

雜集

四十三

A 00
5764

雜集一

東京大学総合図書館

雜集 一

雜集 一

東京帝國大學圖書

B 45224

同 附屬 品形雛形ヲ附ス 九枚

同 附屬 品形雛形 〔 〕四十一個

一 小學品形綜言 圖入 壬二冊

明治十年八月

東京内藤新宿北町十六番地

精里園 謹白

No. 44

ルードン氏林氏綱目書ノ符號

形態	habit
落葉喬木	Deciduous tree
常緑喬木	Evergreen tree
椶類喬木	Palm tree
落葉灌木	Deciduous shrub
常緑灌木	Evergreen shrub
落葉亜灌木	Deciduous under shrub.
常緑亜灌木	Evergreen under shrub.
落葉纒繞草木	Deciduous twiner, ligneous or herbaceous

ルードン符号

常緑纏繞草木	Evergreen twiner, lig. or herb.
落葉攀登草木	Deciduous climber, lig. or herb.
常緑攀登草木	Evergreen climber, lig. or herb.
落葉蔓延草木	Deciduous trailer, lig. or herb.
常緑蔓延草木	Evergreen trailer, lig. or herb.
落葉匍匐草木	Deciduous creeper, lig. or herb.
常緑匍匐草木	Evergreen creeper, lig. or herb.
落葉草木	Deciduous herbaceous plant.
常緑草木	Evergreen herbaceous plant.
禾本類	Grass.

球根類	Bulbous plant.
核形根植物	Fusiform rooted plant.
塊根植物	Tuberous rooted plant.
水生植物	Aquatic.
寄生植物	Parasitic.
住所	Duration and habitation.
宿根草	Perennial.
二年草	Biennial.
一年草	Annual.
濕煦塘	Bark, or moist Stove.

東京大学総合図書館

乾煦塘 Dry Stove.

塘室 Green house.

窓戸ヲ開閉スル室 Frame.

濕煦塘宿根草 Bark Stove perennial

乾煦塘宿根草 Dry Stove perennial.

塘室宿根草 Green house perennial.

防霜宿根草 Frame perennial

濕煦塘二年草 Bark Stove biennial.

乾煦塘二年草 Dry Stove biennial.

塘室二年草 Green house biennial

防霜二年草 Frame biennial.

濕煦塘一年草 Bark Stove annual.

乾煦塘一年草 Dry Stove annual.

塘室一年草 Green house annual.

防霜一年草 Frame annual.

ラウドン 苗芽ノ内 クラマ氏説

B. by budding. 丁字接ヤ芽接

C. Cutting 挿木

D. Division of the plants. 株分

G. Grafting. 接

I. inarching. 呼接

L. layers. 取木

Lf. leaves 葉挿

O. Offsets 蛇苺ノ如ク走ヲ生ス

R. Division of the roots 根分ケ

S. Seeds 種子

Sk. Suckers. 芽分ケ又蘖分（ヒコハヘワケ）

以上

蔓性植物

纏繞　左旋右旋　一年生　水状　アサガホ　フヂ　イシゲン　ミラクサ

攀登　一年　常緑　キヅタ　ブダウ　ヌウナス

総論

接木ハ樹藝上尤モ要用ノ者ニシテ大概其實ヲ求メ奇花ヲ愛シ枝葉ヲ翫フ為メニ施行スル術ニシテ總テ植物同種ノ者ニシテ其花形ノ彼是相変スヘキ者ヲ以テ相互ニ其皮ヲ刮削シ之ヲ層接シ共ニ合着セシムル者ナリ但シ植物ノ性タルヤ其滋養ヲ葉根ニ取リ養液ヲ皮肉ノ間ニ通シ而シテ繁茂スル者ナレハ特ニ能ク其理ヲ認メ穂ト砧木トノ皮肉ヲ密ニ接着シ昇降シテ相共ニ適運セシムルヲ必須トスルナリ且接穂ノ砧木ヨリ滋養液ヲ吸収スル第一ノ要所ハ穂ノ砧木ニ接スル末端皮肉ノ両角鋭ナル所ヨリ資収スル者ナレハ篤ク之ヲ認識スヘキナリ殊ニ接木スルニ其要領タル多クアレトモ其大要ヲ畧言セントス先ツ其大要トスル期節ト砧木接穂接方乗方ト扱方等是ナリ

備フ期節ハ南北ノ度数ト地形又ハ寒暖ノ氣候トニ依テノ遅速アルヲ以テ一概ニ確定シ傳

ストモ其国中稍ヽ発達ノ徴ヲ顕著シタル時ハ巧拙ヲ問ス最好ノ手段トスルナリ且又

砧木ニハ二種アリ一ヲ展附術ト云ヒ一ヲ壓揚術ト云フ天工ノ者ト壓揚ル者トアリ

殊ニ穂ニ至テハ(強力)盛ナル善枝ヲ用ユヘキナリ工種方(前理ヲ明ニ)是ナサント欲スル(意)接目ニ從ヒ下圖ニ

示シタ法ニ傚ヒ穂ト砧木ヲ能ク接合シテ稿索麻若シクハ稿稭ノ毛等ヲ以テ之ヲ束縛

シ更ニ泥塗スルニ接木蝋又ハ泥土ヲ以テ之ヲ終ル後ナル其施術(方法ニ)至テハ大切ニ取置スヘキナ

リ此他緊要アリト雖モ紙ノ多カラザル一々明説スルニ至ラサルヲ以テ唯其一班ヲ掲

示スルニ過キザレハ学者須ク能ク他書ニ由テ之ヲ講究スヘキナリ

第一盤　切接ハ其所頗ル容易ニシテ且接着発達シ易キ者ナリ故ニ之ヲ諸木ニ施シテ

大概善功ヲ見ルニ至ルヘキ者ナリ

第二盤　高接ハ下垂枝及ヒ花実等ヲ速ニ欲求スル者或ハ幹枝等ヲ觀賞

ニ供スル為ニ施術スルナリ

第三盤　腹接ハ木汁多クシテ此カ為接穂ヲ腐朽シ或ハ砧木ノ切口ヲ枯死

セシメ易キ者ニ之ヲ用ユル術ナリ

又一法　根足接ト云者アリ此法ハ幹或大枝ニ接ナリ甚タ衰弱タル者ニ小枝

ヲ添加セント欲スル時之ヲ施スノ術ナリ

又一法　枝接ハ多ク常緑樹ニ用ユル術ニシテ其枝有ノシテ他枝ト轉換スル為

メニ之ヲ施行スル法ナリ

金花堂
東京大学総合図書館

第四档　挿接ハ接穂稍ヽ大ニシテ鈴術ヲ施スニ難ク比例此ノ術ヲ施スニハ
可ナレモ地術ニ取テハ不適ナル時之ヲ行フノ術ナリ
第五档　壓接ハ枝條ヲ切取シ施術スルモ接着スル能ハサル者或ハ時季ヲ失
シ萌芽発生中ニシテ切取スル為メニ竟ニ枯死スルニ至ル者ニ施ス則チ期節ニ拘
ハラス施行スル術ナリ然レモ発芽ノ期ヲ以テ最好トス
又一法　枯落接此ノ術ハ前条ノ旨意ニシテ切口枯落シ易キ者ニ施ス術ナリ
又一法　連接此法モ又前条ノ類ニシテ一時ニ多ク接取セント欲スル時ニ之ヲ
施行スル術ナリ
又一法　取木接ハ少木ニシテ充分ニ菓実ヲ保有シタル盆栽ヲ造出セント欲スル時
之ヲ行フノ術ナリ

第六档　割接ハ砧臺多ク且ツ穂ト砧木トノ其周圍ノ均等ナル者ニ用ユル法ナリ
又一法　厚皮接ハ古木ニシテ外皮厚ク刀削ニ難ク損破シ易キ者ニ施ス
方法ナリ
又一法　花蕾ヲ保有スル枝條ヲ以テ花期ヲ過タス開綻セシメ其当年果実ヲ求ム
ル者ニ用ユル術ナリ
第七档　根接ハ根條ヲ以テ砧木トシ此ニ少根ヲ接木シ砧木ヨリ成長ヲ疾ナラシムルニ用ユル
術ナリ
又一法　根芝接ハ一二ノ太キ全根ノミヲ至テ根少ク盆栽ニナサント欲スル時
又一法　附玉接此法ハ前同旨意ニシテ接穂ノ切口ヲ新土ヲ以被色シ稠
衰ヲ防ク為ニ施ス術ナリ

第四檻　袪接ハ接穂稍大ニシテ餘術ヲ施スニ難ナク比例此ノ術ヲ施スニハ可ナレハ他術ニ取テハ不適ナル時之ヲ行フノ術ナリ

又一法　其ノ接ハ大ナルカ如クシテ施テニモ接苗ナル時ハ其ノ苗或ハ虐害ヲ夫

此テ以テ謂ス然ルトキニ此ノ術ヲ施シ竟ニ其用ヲ遂セシメント欲スルトキニモ盆栽等ニ造リ難キ者ニ施ス術ナリ

又一法　根継接ハ同種ニ屬ノ砧木トスヘキ者ナキ時ハ其種木ノ根端ヲ切取リ之ヲ砧木トシ繁殖セムルトキニ用ユル法ナリ

又一法　取木法ハ或ル樹中ノ充分ニ結果スベキ條枝ヲ撰ミ根ヲ接キ盆栽トナシ其果實ノ稍熟サント欲スルトキ之ヲ截切リ盆栽トナスニ用ユル術ナリ

第八檻　呼接ハ宿生ノ樹ヲ速ニ成長ナサシメント欲スルトキニ此ノ法ヲ施スナリ

第九檻　插接ハ接穂稠折レ易キ者ニ用ユル術ナリ

又一法　耳玉接此法ハ前同意ニシテ其ノ接穂ノ切口ヲ新土ヲ以テ被包シ稠衰ヲ防クガ為ニ施ス術ナリ

又一法　此接法モ又前同首ニシテ接穂ノ切口ヲ此間ニ挿シ両ニ[illegible]

裏ヲ摘ミ用ユル法ナリ

第十[illegible]　芽接ハ接穂僅少ナル中多数作出セント欲スル時ニ用ユル術ナリ

又一法　丁芽接此法ハ前同首ニシテ只皮芽ノ綱枯ル易キ者ニ用ユル

法ナリ

第十一[illegible]　合接（図）ハ砧ト穂トノ周囲ノ少シク異ナリ穂ノ切接ナニ異ナ

二図　挿接ニハ細クシテ適当ニ錐キ者ニ用ユル法ナリ

又十法　本端接ハ芽接ト同首ニシテ只砧ト穂トノ周囲ノ平均スル

者ニ用ユル術ナリ

[illegible]

[illegible]　黒沢[illegible]　八

十二月十六日

[illegible]

白色紫梗脂製法

溶解法

アルコホル四百グラム（三十六度ヨリ四十度ノアルコホル）ヲ麦酒罎ヘ入レ

白コムラックヲ百五十グラム（一グラムハ我三分三厘ニ当ル）ヲ砕キ百グラム（二十七匁

ニ当ル）ヲ入レ九二周間ヲ経レハ自然ニ溶解ス尤モ夏時ハ大

陽ノ光線ニ曝シテ之ヲ溶カシ寒天ノ時ハ煖炉ノ前或ハ花室

等ニ入レ置ケハ一両月ニテ全ク溶解ス若シ速ニ溶解セント欲スル時ハ中和湯

ヘ入レ暖度ヲ与フレハ全ク溶解スヘシ決シテ火上ニテ溶ス可カラズ

塗抹法

前文ノ如ク全ク溶ケタル（ラック）ヲ綿ヘ浸シ其外ヲ金巾

[illegible]

記

土塵青百斤入壱箇信濃場稲郡龍丘村ヨリ土崎湊迄駄送土崎湊ヨリ東京迄ノ四費共其年比較見積左ノ通ニ御座候

一 金八拾錢四五厘也　土塵青百斤壱箇入費
　内訳
　六錢也　土塵青百斤山元代價
　八厘也　右荷造俵蔵縄代
　貳厘也　右俵縄代
　五厘也　右同断荷造代
　六拾四厘也　右百斤土崎湊迄駄賃
　貳拾錢三厘也　土崎湊ヨリ東京湊迄用途
　弐錢也　右分立元拾厘代
　壱錢五厘也　右船積込揚代
　弐錢壱厘也　右土崎湊ヨリ船川迄船運賃
　三錢五厘也　右船川ヨリ東京迄運賃
　壱錢壱厘也　右廣島敷手数料
　弐錢也　右積込賃
　弐拾錢也　右船川ヨリ東京迄運賃
　但シ本文ハ一噸ニ付五拾錢ノ割

右ノ通ニ御座候也
　智用様
　　九月一十六日　黒澤利八
　　土崎湊
　　　其事ヨリ荷物ハ

九年十月
　秋田縣
　　二等ハ

別紙

一 金七拾貳錢三厘也　土塵青百斤壱箇入費
　内訳
　金六錢也　土塵青百斤山元代價
　金八厘也　右荷造俵代
　金少厘也　右同断縄代
　金三厘也　右荷造代
　金六拾錢四厘也　右百斤土崎湊迄駄賃
　金貳錢也　右湊ヨリ道直シ運送代
　金少厘也　右道直シ代
　金壱錢五厘也　右荷造賃
　金少厘也　右船川ヨリ積込代
　金六錢五厘也　湊船川迄船運賃
　金五錢五厘也　右土崎湊ヨリ東京迄
　金少厘也　右船川ヨリ東京迄運賃
　金四拾少錢也　右船川ヨリ東京迄運送ノ
　但百斤ニ付金百五円運賃之定

右ハ過日御申越之件
　御申越之壱万七千遍
　　西湊ヨリ船川迄
　　手続　黒澤字八
九年十月廿八日
　御申越之百斤

白色ラック使用法

溶解法

アルコール四百グラム（弐十六両目）（四百グラムハ凡アルコール一升二合）ヲ麦酒罎ヘ入レ白コムラックヲ百五十グラム（一グラムハ我ガ二分六厘六毛）或ハ百グラム（二十七匁）ヲ入レ凡二周日ヲ経レハ自然ト溶解スルモ其時ハ大陽ノ光線ニ曝シテ之ヲ溶カシ寒天ノ時ハ煖爐ノ前或ハ花室（ウエキムロ）ヘ入レ置ケハ一両日ニテ全ク溶解ス若シ速ニ溶解セシムル時ハ中和湯ヘ入レ暖度ヲ与ヘハ全ク溶解スヘシ決シテ火上ニテ溶ス可カラズ

塗抹法

前文ノ如ク全ク溶ケタル（ラック）ヲ綿ヘ少シ浸シ其外ヲ金巾又ハ粿綿ニテ包ミ（ラック）ノ滲出ル様ニシテ其塗ラレトスル材ノ面ヘ横順或ハ精製承脂（セレツ）承脂ヲ塗ナガラ撫ヘ丸ク輪ヲ書クノ様ニクルクル塗抹ス決シテ竪或ハ横ニ磨スルハ宜シカラス材ノ一端ヨリ他ノ一端マテクルクル順ニ塗ヘシ決シテ一所ノミ磨ス可ラス

右概略申述

此ラックハ三千五百分之一（アルコールハ九八九十匁ニテ溶解ス可シ）
可然ト存候也

片山直人 記

ラック代價調

一 セラック　一ポンド　背広店ニテハ六十五戔
一 白ラック　仝　壱円
　當時品切レニテ手ニ入ラズ
一 マスチック　一ポンド　（二円）四円五十戔
右ハ御陶磨三軒ニ就テ各代價ノ異同アリ其高二円乃至二円五十銭位ニ御座候夫ヨリ少量ヲ要スルトキハ一ポンド以下ハ販賣セス他ノ四円トアルハ一斤ナリ半ポンドニテ二円七十戔ナリ尚少量ヲ望ムトキハ他店ト価ノ比較ヲ
右ノ通ニ申上候也

又一法　此接此法モ又前同者ニシテ接穂ノ切口ヲ此ノ窩ニ挿シ而一摩擦
裏面行ク二用ユル法ナリ
第十隘　芽接ハ穩穗偉ナル中多数作出セシ継ク二用ユル術ナリ
又一法　ノ芽接此法ハ前同者ニシテ只皮芽ノ凋枯シ易キ者ニ用ユル
法ナリ
第十一隘　合接ハ砧ト穂トノ周囲ノサヲ異ナリ穂ノ切接ナル二人異
二ヶ捨接ニハ細クシテ適当ト認ル者ニ用ユル法ナリ
又十法　本端接ハ芽接同者ニシテ只砧ト穂トノ周囲ノ平均スル
者ニ用ユル術ナリ

白色半梗脂髹法

白ゴムラツクノ溶解法

アルコホル四百グラム（三十六度ヨリ四十度ノアルコホル）ヲ麦酒罎（ビールビン）ヘ入レ白ゴムラツクヲ百五十グラム（一グラムハ我二分六厘八毛）或ハ百グラム（二十七匁ニ當ル）ヲ入レ凡二周間ヲ経レバ自然ニ溶解ス左其時ハ太陽ノ光線ニ曝シテコヲ溶カシ寒天ノ時ハ焙爐ノ前或ハ暖室（花ウヱキ合ヌルエ）等ニ入レ置ケハ一両日ニテ全ク溶解ス若シ速ニ溶解セサル時ハ中和陽ヘ入レ時度ヲ異シハ全ク溶解スベシ（決シテ火上ニテ溶スヘカラズ）

○塗抹法

前文ノ如ク全ク溶タルラツクヲ綿ヘ少シヅヽ浸シ其外ヲ金巾又ハ晒木綿ニテ包ミラツクノヘ滲出スル様ニシテ塗ラレトスル

材ノ面ヘ豬脂或ハ精製(グリセリン)豕脂(食用ノ豕脂)ヲ塗ナガラ板ヘ丸ク輪ヲ書ク様ニクルクル塗抹スベシ決シテ竪或ハ横ニ磨スルハ宜カラズ材ノ一端ヨリ他ノ一端迄クルクル順ニ塗ルベシ決シテ一ツ所ヲ久シク磨(コスル)可ラズ

右概略申上候

此ラツクハ二十七匁カしりヲアルコホル・九八九十匁ニテ溶解以為し可然と考申し

明治十三年四月十五日　片山直人

田中芳男様

伊豆國加茂郡熱海ノ地ハ温泉アルヲ以テ其名久シク海内ニ傳ハリ其効驗汎ク世ニ知ラレ遠近ヨリ來リ浴スル人年ニ多シ故ヲ以テ土地漸ク繁盛ニ趣ケリ舊來其地ノ産物ハ雁皮紙及ヒ引物指物塗物等ニシテ天保嘉永ノ頃ハ甚盛ナリシガ其後雁皮紙ノミ残リテ其他ハ総テ變換シ今ハ獨リ楠細工ノ一事業而已トナレリ抑樟材ヲ用ユルノ源ハ天保八年當地不動澤ノ樟樹ヲ伐リ美ナル木理アルヲ創見シ始テ器物ニ作

ヲ濫觴トヽス而シテ當國ハ素ヨリ樟樹ニ富ルヲ以テ爾後其材ノ工作日ニ進ミ良材ヲ出セル亦多シ就中紋理ノ美麗ナルハ支那ノ影木ニ讓ラサルノ看アリテ大ニ世ニ賞誉セラルヽニ至ル然リト雖モ需用ハ日ニ多ク良材ハ月ニ減シテ今ハ其材ヲ他國ニ仰クニ至ル如此シテ尚數年ヲ経バ美麗ノ樟材乏シキニ至ラン余ヤ此地ニ來ルコト既ニ三囘略其景況ヲ知レリ因テ青木氏ニ謀リ同氏所藏中最良ノ材ヲ選ミ扁額トナシ其梗概ヲ録シテ來宮神社ニ掲ケ以テ不朽ニ傳ヘントス青木氏ハ家號ヲ遠州屋ト稱ス當地木匠ノ巨擘ニシテ其業既ニ三世ニ及ブト云爾

明治十一年十二月七日

熱海渡邉氏ノ一色亭ニ於テ田中芳男記

東京大学総合図書館

砂粒深の者多きを以て鉋を損ずるの畏れ有り
鉄棒材の如き其樹質ちり同しからずと雖も亦
此材ヲ亞ぐを以て造船材ニ供用せられ近年を
日本チーキの名得るニ至る

日枝公園新設ノ記

東京府内ニ於テハ公園ノ設アルハ上野公園ノ如メ浅草
観音境内芝増上寺山内深川富岡社境内等（既ニ抑次社境内）
ニテ其他ニ遊歩スヘキノ地ナシ然ルニ麹町区
日枝神社即山王社地ハ区域ホナレド従来ノ岡阜ナ
ルヲ以テ土地高燥樹木蒼鬱ナルガ故ニ遊歩ノ地ニ適

スルハ私事ニ属スト雖モ境内荒蕪ニ属スル多シト然モ今之ヲ稍繕
シテ私立公園トナサハ独リ該地方ノ遊楽場トナルノミナラス
社ヲ修補スルノ一助タルコト並ニ佐竹学氏君ノ創意ニ
ヨテ東京府庁ニ乞ヒ 十時 道路ヲ改修シ荊棘ヲ
除キ樹木ヲ補植シ小公園トナサントス然ルニ一時ノ備侍
ヲ加フルニテハ永ク保護スルノ策ナシト然ス成ノ[illegible]
近郷ノ篤志者ニ乞フテ資金ヲ募集シ永續ノ策ヲ立ンコト
欲ス因テ其第一着手ノ目的ツ次ノ條ヲ掲ケ漸次ニ着手
ナサントス 今アリ金ヲ以テ其方法ヲ業セン因テ（今其第一着手ノ目的ヲ[illegible]道路ヲ[illegible]スヘキ[illegible]一目ニ便スト云フ）

明治十三年十月 日

愛知県公立名古屋博物館ヘ寄附物品目録

一東第一号 切度ヲ埋メル

第一 鳥井内ノ小土手ヲ取除キ其土ヲ以テ内外ノ凹地

第二 植木ノ下ニアル茶店ヲ除キ他ニ移シ其下ニ社殿ヲ建

樹ヲ植ル

第三 此ヨリ凹地ヲ手均シ遊覧ニ便ニシ[illegible]

枯樹ヲ除キ其跡ニ[illegible]

第四 池内ノ[illegible]ヲ浚ヒ其土ヲ以テ崖ヲ[illegible]

崖上ニ生垣ヲ作リテ遊覧ノ危険ヲ除キ池内ニ

蓮其他ノ水草ヲ植ル

凡ソ何モ維持ニ係ハ私事ニ属スト雖モ境内荒蕪ニ属シ多ノ上紀モ今之ヲ補繕
[illegible]ニ留リ[illegible]

五　石ノ多キ辺ハ山下ニ石段ヲ開キ迂廻シテ山腰ヲ過キ渓谷ニ山上ニ登ル又山上ニハ二ノ岐路アリ共ニ中
[illegible]ノ意キ者ハ迷フ

六　道路ノ傍ニハ並樹ヲ植ル事

七　懸崖ノ上ニハ垣又生垣ヲ以テ危険ヲ防禦スル事

八　凸凹ヲ平均シ真土ヲ以テ道路ヲ補フ事

九　陥坳ノ地ヲ埋メル事

十　不陸ヲ平均スル事

十一　杉林ノ繁キ所ハ幾分ヲ去リ樹下ヲ通行スベキ様ニナス事

~~愛知県公立名古屋博物館ヘ寄附物品目録~~

十二　崖ノ寂寥ヲ去リ崩壊ヲ防キ不潔ナラシメサル事

十三　汚穢物ヲ寂寥ヨリ除キ通行セシムヘキ様ナス事

十四　[illegible]

十五　旧道ヲ補理シ新ニ之ヲ設ケ富士山ヲ経[illegible]

十六　富士山ハ原来霊迹ヲ瘞ナル毀ケナノ四方ノ地
人ヲ良トス又~~其[illegible]~~
其ノ景体ニ依テ石像及仏子ニ至ル迄ナ[illegible]
形体ニ寄セシメント欲スル事

十七　其地眺望ニ応シキヲ以テ楼ヲ造ヘ眺望体ニ従ヒ

廿一 裏面ヲ改テ鉄ニ直シ綿ニ着換ヘ
廿二 廻廊ノ椽板ナキヲ張リ球拖場トナス積リ

十八 此佃返ハ登岸ニ便ナラシメ手入スヘシ
十九 此石階ノ不足石ヲ補フヘシ
二十 此中庭ヲ清掃シ眺望ニ便ニシ場ヲ備ケ又入口ヲ取付ヘシ
（佃島ノ）
（是等ヲ発見シ此外ノ家ニ迄モ施スヘシ）
右ノ外各地ノ樹木ヲ植栽スヘシ 其木ヲ除クヘシ 不足ノ土石
ヲ補フヘシ 崖ノ崩敗ヲ防クヘシ 其他ニ従事スヘキヲ多ケレハ之ヲ挙ケス
此外各周囲ニ必ズト雖モ必ス存置ニモ之ヲ修繕セシ
ヲ得ザルハ 他ハ新造ス 道路 溜池ノ両岸ニ之ヲ施シ
甚シキ手入ノ取除クヘシ（ニ道路ヲ造ルヘシ）（ヲ通シテ道ヲ造リ施スヘシ）
各周囲ノ町端ノ切芽ヲ植エテ置カシムヘシ 優ニ土石ヲ
又庭前ノ上ニ至リ 海岸ノ周囲ノ風景ヲ添ヘ遊人ノ休憩ニ
ニ供スヘシ

斯氏農書 五ノ五百九十九葉ノイ
犂 一ハ犂ヲ耕シ之ヲ撥ノ一條ヲ作ル 犂柄 犂轅 ブリッドル
鈎 犂轅 犂刀 コルトル 犂襪 ソック 犂條
防土板 モールドボールド 地側板 ランドサイドプレート 犂底 ソールシウ
犂鋤 犂身 犂轅 鉄鍵 板胸
鑱 犂鍬 プロースペイト 横木 衡 梃 環
叉鍬
五ツ十字 刈科 カリカブ 軥 コンラン 肩襷 ケープ 籠 篭 カゴ

モルリエスナイタ

セレンクラス

ロ土

デジアス

Bo、

common sea-mat (frustra)

Sea-shrubes.

Sea-fir (Sertularida)

Sea-pen, (pennatulidæ)

navicula, (a genus of diatoms.)

Sea-mosses.

Zoospore.

Sea-squirt or Ascidian Molluscs.

common sea-mat (Flustra)

Sea-shrubs.

Sea-fir (Sertularida.)

Sea-pen, (pennatulidæ.)

navicula, (a genus of diatoms.)

Sea-mosses.

文部省

トクサガヒ

ウミマツ 鐵樹

ウミヒバ 石帆

タコノマクラ 海燕

井ヌタイノエ

カイロウドウケツ

Bo.

丁内資料 東京大学総合図書館

Zoospore 泗 欧ノ海藻ノ無胚子 即チ芽 足ハ動ク繊毛ノ倚ニ因ヲ蕃殖ヲナスモノナリ 海藻ノ無胚子

海ノ水節 Sea-squirt or Ascidian molluscs. 石勃卒（ホヤ）類 キュニー図アリ ホヤ類ナリ ウミー図アリ 又

Common sea-mat (frustra) ウミ 川 foraccea ノ図アリ 海膵 義訳（奈仲未録出類中）

Sea-shrubs. (Coelenterata 内ナルヘ 泗ウミノ キャ 其一ハ無シ 化シ 腔腸部中ノ有目ナリ 義訳メ 海樹木（珊瑚類ノ植虫）トス

Sea-fir (Sertularia) 前目中ノ植虫 義訳メ 海樅ト云フ

Sea-pen (Pennatulidae) 封王倫等ノ動物ノ紅色ノ

Navicula (a genus of Diatoms) 單胞体植物ノ名

Sea-mosses. 泗 Coral ノ良ヨナル 珊瑚ノ子ニナレ 昔注 Coral トアルハ 珊瑚属ト訳スベシ 或ハ海苔ト訳スベキ 佛 混也

「ミイスクアート」ハウードノ四百三十九頁ニ見エ
「ミイコットト」ハウードノ四百四十九頁ニ見エ
「ミイペン」ハウードノ七百五十六頁ニ見エ
「ヅースポーア」ハウエブスターニ見エ
「ナビキユラ」モウエブスターニ見エ
「ミイモッス」モ亦ウエブスターニ見エ
「ミイフアヰア」「ミイスラベス」ニ字共ウエブスター不見
ウードニ不見

小学 農用化学

回 総論

農用化学ノ目的 一

○第一編

第一章 空気並ニ水ノ本性及其成分 十一

○第二編

第一章 耕地ノ原生及其成分 三十七

第二章 耕地ニ含メル植物ノ滋養 四五

第三章 化学上耕地ニ含メル物質ノ験査 五八

第四章 耕地ニ含メル有機物ノ検法 六九

第五章　耕地中ニ在ル無機物ヲ成ス法　七四
第六章　耕地ノ物理性質　八四
○第三編　土質改良論
第一章　植物発育ノ理　八九
第二章　諸般肥料　九五
獣糞ノ堆糞　九六
植物性肥料
藁、青草ノ埋肥　百三一
油糟其他諸件　百三二
動物性肥料　百三五
血、骨、人糞、骨炭
海鳥糞其他諸件　百三七
鉱性肥料
石灰、石灰石、肥土、介灰、　百八三
海砂、介殻、石灰性ノ砂　百八四
石膏即チ硫酸石灰、灰　口
硝酸曹達、海塩、煤、　口
第三章　火焼法　二三八
器械上土質ノ改良
客土　二四一

排水術 二七二
排水術 二七二
○第八編
輪廻機器
柱物近似分
新ナル機械ヲ発明スル人ノ規則 機械中最モ要スル注意 二六七
第一章 輪廻機器ニ就テ循用スベキ規則 二六九
第二章 輪廻機器ノ規 二六九
第三章 柱物近似分 二七九
撼形 聯屈 八
柱物ノ脂油 八
百房陣 即チ柱物脚屈 八
第四章 柱物近似分ノ諸物ヲ運動スル規 二九二
○第五編
第一章 運動ヲ差留スル注意 二九七
第二章 数種ノ器論 三一二

抜

項目農用化学譯成ルヲ以テ全ニ一閲センコトヲ乞ハル曼テ之ヲ閲スルニ農事ニ関スル気水及ヒ耕地ノ性質ヨリ各種肥料ノ効用ヲ詳明ニシ次ニ輪廻種芸、植物成分、畜獣育養、穀類貯蓄等ノ事ヲ論ズ実ニ農業生徒ノ模範ト[redacted]スベク之ヲ農業上ニ施サバ必ズ許多ノ鴻益ヲ起スベキコト疑ヲ容レズ惜哉甚譯ノ高尚抑初学ノ者ニ[redacted]解シ難キ[redacted]所アリ且之ニ加フルニ

物多ノ如キモ甚誤 穏當ナラザル者亦多シ
今ヤ稍之ヲ改竄セント欲スルニ印刷既ニ
竣功ノ後ニ在ルヲ以テ（意見ヲ盡ス能ハザル故ニ）唯若干ノ正誤ヲ示シ
聊カ閲者ノ注意ヲ希ス亦止ムヲ得ザルニ
出ルノミ

明治十三年三月廿日　田中芳男記

三河國碧海郡新開水道ノ目的

村數	安城村始メ七拾ケ村	其戸數壹万貳千八百六十四戸
幹流	長凡拾三里	
派流	〃 拾八里	
樋管	大小 百四十三ケ所	
橋梁	〃 六百廿ケ所	
泥地	七拾余町	其減租金百五十円余
経費	金八百円余	
溜池	四百八拾八丁	
山林原野	水田トナルヘキモノ三千三百六十五町余	

瘠地ノ畠水田トナルモノ　四千五百八十壱丁余
升水ニテ灌ルヽ田ヘ与ル　千弐百丁余
干損ニ供ル　三千弐百八十壱丁余
合計壱万弐千九百丁歩余
現今地價三百廿九万七千三百三十壱円余
平均反ニ弐拾五圓六拾銭
墾地ノ後地價五百七十万円余
平均反ニ六七拾円ノ見込

礪波郡ニ黒川トゴフ川アリ石灰石ノ丸石流レ来リ之ヲ拾ヒ取リテ石灰竈ニ寄ル所アリ此流ノ沿カセシカ

農書目録追補

自由原論	肥塚龍	一円	全二冊
海上突衝試判法	田口惠	十五戔	全一冊
陸路之記	宮内省	七十戔	全二冊
[illegible]		戔	全一冊
考古説略		五十戔	全一冊
博物叢書 天日孫帰化時代考 蘇那曷叱知來朝考	博物局	二十五戔	全一冊
列品目録 鑛物ノ部 地質ノ部	同	三十三戔	全一冊
地理論略	文部省	一円二戔三リ	全一冊
蘭均氏土木學	同	一円七十八戔	全二冊

有鄰堂活版所

礪波郡ニ黒川ト云アリ石灰石ノ丸石流レ来リ之ヲ拾ヒ取リテ
石灰竈ニ寄セ焼ケリ 此流ノ[illegible]セシカ

挿入資料 東京大学総合図書館

瘠地ノ畠水田ト十ルモノ　四千五百八十壱丁余
丹水ニテ灌スル田ヘ与ル　千弐百丁余
千損シ、共ル　三千弐百八十壱丁余
合計壱万弐千九百丁歩余
現今地価三百廿九万七千三百三十壱円余
平均反ニ弐拾五圓六拾銭
甦地ノ後地価五百七十万円余
平均反ニ六七拾円ノ見込

農書目録追補

自由原論	肥塚龍	一円	全二冊
海上突衝裁判法	田口恵	十五戔	全一冊
陸路之記	宮内省	七十戔	全二冊
衣服料試験説	衛生局	十五戔	全一冊
考古説略		五十戔	全一冊
博物叢書 天日槍帰化時代考 蘇那曷叱知来朝考	博物局	二十五戔	全一冊
列品目録 鉱物ノ部 地質ノ部	同	三十三戔	全一冊
地理論略	文部省	一円二戔三リ	全一冊
蘭均氏土木学	同	一円七十八戔	全二冊

有鄰[illegible]版所

書名	著者	定価	冊数
北海道地質総論	開拓使	六十銭	全一冊
綿糖共進会報告		定価不同 自壹号至六号	全八冊
全国人口耕地比較表	戸籍局	二十二銭五厘	全一折
人間心要百物製法 早窒舎学	城蔭慶	三十五銭	全一冊
譜氏村乃学	文部省	六十一銭五厘	全一冊
農産分析集			
勧農所書	林遠里		
農務統計表	勧農局		
家事要法	文部省	一円七十銭	全二冊
農商訓蒙			
甲州葡萄栽培法	福羽逸人	三十五銭	全一冊
牧牛手引草	勧農局	二十銭	全一冊
翻刻 欽定授時通考	同	十円	全廿四冊
農家矩	織田完之	五十銭	全三冊
稲苗新話			全一冊
鉱物字彙	村上英俊	十銭	全一冊
生計秘訣		六十五銭	全一冊
貯金道しるべ		三十銭	全一冊
農業読本	岡師彦	三十銭	全三冊
労氏地質学	文部省	九十銭	全二冊

有鄰堂活版所

有鄰堂活版所

家畜食物論	村上要信	十五銭	全一冊
水産雑誌		六銭宛	
土木工要録		二円三十五銭	附録共 全四冊
備荒餘録		十五銭	全一冊
相馬學	陸軍省	四十四銭	全二冊
大東略史		八十五銭	全五冊
籍根草			
千花ノ花	宮内省	一円九十銭	全六冊
綿説			全一折
四回年報	勧農局	三十五銭	全一冊

於羅喜羅武		二十銭	全一冊
訓蒙動物學	平岡岡	二十銭	全二冊
農業新書	十文字信介	五十銭	全三冊
小學讀本 農學入門	岡本監輔	七十銭	全一冊
樹林學講義	山林局	十五銭	全一冊
工作心携	宅山新三郎	六十銭	全一冊
森林保護要略	山林局	九十銭	全一冊
内洋経緯記	佐藤信淵	十八銭	全一冊
三極培養新説	楳原寛重	二十銭	全一冊
鎔造 天地化育論	佐藤信淵	七十五銭	全三冊

有鄰堂活版所

植学啓原	松本駒二郎		全二冊
農用分析表	勧農局	五十銭	全一冊
蘆粟栽製簡易法	同	五十銭	全一冊
重刷 同	同	十二銭五リ	全一冊
工藝相談	龍池會		
氣候観測法	地理局	二十二銭	全一冊
小學校口授 農業談	須川賢久	三十銭	全一冊
東京府下 農事要覧	東京府勧業課	一円廿五銭	全六冊
官令沿革表	大蔵省	十二年洋本	全一冊
内務省布達全書	内務省	一円 十一年後 / 十五銭 十三年前	全一冊 / 全一冊

大蔵省布達全書	大蔵省	三円	十二年 一冊
孛國地方行政法類聚	内務省		七冊 未完
内務布達便覧	同		近刻
文機活法			
違警犯人			
同 傳染病豫防規則心得書	吉田定静	二十銭	全一冊

有鄰堂活版所

記

之

大坂

瑞通壱丁目

坪井屋吉右衛門

女房　きけ

悴　小吉郎

仝　伊三郎

仝　徳蔵

娘　やよ

〆六人

右之文久弐戌年二月当州小田原代官所

作州[illegible]堂[illegible]版

英蘭對訳目録

3 De rededeelen 文章部分
3 Van een School. 学校具
4 Trappen van bloedverwantschap. 親属
5 De deelen van het menschelijk ligchaam. 人体
7 Kleederen. 衣服
9 De dagen van de week 値日
9 De maanden van het jaar. 月
9 Van den tijd 時
10 Van de [illegible] en het uitspansel 天文
11 Van het eten en drinken. 飲食

病 [illegible]

書店義光方ニ今度ニ川取次致[illegible]ニ間
届ニ[illegible]
右之廻リ遅[illegible]在候也
右藩[illegible]ニ手続[illegible]川[illegible]由

14,	De deelen van een huis enz.	造営
16,	Huisraad.	家材
18,	Van een kerk, enz.	寺社
19.	Wereldlijke waardigheden, enz	人位
21,	Van landen, volken, enz.	地名
23,	Oorlogsbenamingen.	軍事
25,	De Zeemagt.	海軍
26,	Maten, gewigten, Muntstukken, enz.	量尺度貨幣
27,	Metalen en edelgesteenten	金石属
27,	Van boomen en vruchten	草木果実

光

29,	Viervoetige dieren	獣畜
31,	Vogels,	鳥
32,	Visschen,	魚
32,	Kruipende en gekorvene diertjes,	爬蟲及昆虫
33,	Van de ziel en hare vermogens,	情態
34,	Van kunsten, wetenschappen, ambachten, enz.	諸学 諸術 諸工
40,	Bijvoegelijke naamwoorden.	形容詞
42,	Werkwoorden.	動詞
56,	Verbuiging.	

紀伊[redacted]産物書名

一 紀南六郡志　宍戸昌ノ借入 天産伊字附　八冊

右ハ畔田翠山ノ著ニメ紀州牟婁郡ノ外六郡ノ物

産ヲ記ス　一石　次史　二草　三木　尺牛　五果蔬穀

菜冊葷菌　六虫　七魚介　八上　禽獣

一 熊野物産初志　大吉保 撰字　一冊

右ハ前ノ以人ノ者植物名凡百二十一品　同三十三品

一 紀州在田郡湯浅庄内産物誌　全

右ハ初丁ニ皇倭南方（附）草木状（疏）目次トアリ　数葉ヨリ有年

魚　獣　禽　虫　介　土石　玉石　十三年九月　以田之成生

ノ示スニ備フ 天覧ニ供スルモノナリ

一 明治十年 紀州探索紀行 天文写本 全

右ハ田代安定ノ稿文 小野職愨 田中芳男 中島仰山

飯田信徳 等ノ一行ニ係ルモノナリ

一 同 紀州植物誌 三冊

右ハ前記 採集目録ナリ

一 同 勢州植物図説 一冊

右 前記 採集ノ内ヨリ 殊異ニ撰ムモノナリ

本ニ示 天覧ヲ経テ返ス 十七年七月十日 田中芳男

紙儀板

植木市

摩下西新井大師ノ植木市ハ 従来諸木ノ多ク出ルナリ
聞ケル本文実ヲ得テシテナリキ 旧暦ヲ改メ新暦トナリ
テハ 旧来三月廿一日ナルヨリ 三月廿一日ヨリ四月
廿一日ノ方 盛大ニシテ 且廿一日ノ前後日ヲ合セ 三ケ日ナリ
トス

今年四月廿日ハ雨天ナリシモ 廿一日ハ漸ク晴レ 又人ニヨリ午后
四時上野ヲ発シ 同市ヲ尋ヌ 道ハ坂本通リヨリ千住
ニ至リ大橋ヲ越ヘ 中組ニ至ル 左ノ方ヘノ岐路アリ 此所
ニ弘法大師道ノ石ヲ建テリ 此道ニ入リ 河堤上ヲ行
キ 夫ヨリ右ノ方ヘ坂ヲ下リ 村里ヲ行ク 大師迄一里ナリト
セリ 此日ハ尚未タ午ナルガ如シ 且路ハ漸ク人力車ノ行違フホド
ニテ 雨天後ナレバ泥濘アリ 遂ニ人往来多クシテ 急行シ難ク

農商務省

スヘカラス又酔人モアリ荷車ノ往来モアリ至テ賑カナルハ
ナリシ又大師ノ門前茶店酒店多ク門内也ノ周囲ニハ
縁日商ノ露店満テ境内為ニ狭シ堂ノ右方庫裏ノ
前辺ニハ植木商相並ヒテ老人甚タ何ヲ往来シテ雑テ
生ズノ地ナリト云フ植木ハ苗木ノ類専ラカラナシ但シ上等ノ
品ハ少ク御栽ナリシ又籠雑用并茶用山海用ノ苗木モ
多クアリ椿山茶連翹海棠梅等ノ園庭用モ多クアリ
價ハ東京ニ比スレハ賤シ廉ナリトス

明治十八年四月十三日　田中芳男記

高知県三浦盛一氏談県物産ニ就テノ話

一 土佐高岡郡三ツ村辻某ト云フ豪家ニ柑類多シ同家ニ天子ノ
四季咲佛手柑毎年一本結実ス因テ同氏ハ植物能ク熟セシム
此柑ハ淡家ニ大木アリ又此村ニハ何是アリ又他村ニモ此外ト同様
アリ又安芸郡東ノ陵ニモ若干アリ

一 宇佐郡鰹節名産四五月ノ間盛ニ製ス

一 水産物若布ト云ハアラメ又ハ切メハ天ノミニテ兼テ作ル二對偶
然ニ出来タルモノハ由又アミトクワカメハ即チ年ノ分剛剛青色ナル
者ヲ採ハ葉ハ大ニ知レヌ

一 アユカケハ高知ニテチブ又アオトト云フ（川）石垣ノ間ニ棲ムフ上ニ
アリテ好ンテ蟹ヲ鉤テ釣ル其鉤ハ堅ク縛リテアリ
ヘ此物ヲ差シテ用ユ竿ハ鋼竿ヲ用ヒ其柄ハ竹ニテヨシ其魚
深山谷ニ棲ヘ四道ノ陥ヘアリ多シ細長ニシテ長七八寸生活ハ黒色ニ

アミノ色黄ニハ薄黄色トス　價至テ廉ニシテ人之ヲ度外ニ置ケリ
冬月煮ハ汁凝リテ糊膏ノ如シ
一 本年鰹三千二百頭捕ハ平年ハ大凡頭價セリシ　其品類ハ
ナガス　コクヂラ　セミ　イハシ　ナガスハ赤肉美味
セミハ價四倍ス本年四頭獲タリト云フ　ザトウ 白肉美味
白身ノ肉　シャリク　モチア　アリ　温純但ニ切リ鯨ヲ擦シ
油ヲ去リ大ヨリ湯煮シテ後水ヲ更洗フナリ
一 幡多郡 鵜来島（ウグロシマ） 一名オキノシマ ニ多ク生ズル方言ヘウフウト
ミフ草ハ 虎稍（コウゝ） 汁ノ如 浸煮ニシテ食ス 堪ヘシ
八丈草ナドニ 此島ハ何ゾ天上ニ載ス 壽稿ノ如キヲ赤シ
一 イハチシヤ 茎ヲ生ニ食用ニ宜シ
一 四季咲藤 白茶色ノ花サク 葉ハギノ如シ 扱ミ入ニ
コフヂ 大ナヘシ

一 鰤ノ品類ハ関伊氏多ク持来ルト云フ
一 石南トアハ ハマビハナリ
一 キビナゴ 土佐ノ海ニ多シ 鰹ノ餌トス 春生多シ 今回ハ之
鮎児交リテ来ル 外海ニテ地引網ニテ捕ル 煎鰊（イリザコ） 鹽煎（エイリ）ヽ
ニ作ル 鮎児ハ海ニ多クアリトゾ
一 里芋ハ高岡郡西分村ヨリ持来ル 高大ニ種アリトモ持来ルハヽ
ミナリトイフ 稲又ノ後 村稲後ク熟セリ 読村ハ五七分位ノ
田ヲ廃棄シテ 此芋ヲ田ニ作ル 厚水壽ヲ注ク 此芋ノ茎
赤芋ニ似タリ 味堅シ 色ハ白シ 甚含ス 乾シ生ニテハ含セズ
根ハ甚ダ含ミテ堅シ 赤芋ノ下等ナル味ナリ 目方ヲ以テ賣ル
五月休ミヂアリ 上川ニテ田芋トモアリ 高雖ヘ作ル モリキオズイモ
一反ニ付根ヲ多ク作ル 但シヅクシテ味甚ヽ 高知ノ果トハ別ナリ
此芋ハ茎緑色ナリ 冬月含ス 是ハ畑芋ヲ田ニ作ルハヽ

一 黒柄（ノロカラ）トモフ芋ハ上州ニアリ 右ハ国平里土佐ニアリ 細ク作レ且多ク
分ニ作リテ 囲芋トス 根ハ小ク 毛多ク紋ニ 皮ヲ剥テ去ラザレバ
食スベカラズ 味不足ニ 又仔芋多ク附ク丁 八頭ノ如ク多ク 茎ヲ出ス
播ノ下ノ説キタル 而ク 轉ジテ 置ク トキハ 他芋ノ 絶ル 候ヲ 延好フ
ベキニヨリ 大ニ 都合良シトモフ

附言
一 北海道全市ト宮内トノ間ノ岸ニ サリガニ多シ 雪中ニ雪ヲ去リ石
ヲ起セバ 魚ト蟹トヲ獲ル 蟹ハ赤シ 容易ニ見分クベシ

参考ニ用ヒタル書名

松野尾章行編
一 土佐國旅行必携　明治十三年発兌　初篇　壹冊
郡名村名里程人口等ヲ記セシ簡便ナル書ナリ

高知縣廳出版
一 高知縣土佐阿波両國全圖　明治十二年　完

愛媛縣第一課編纂
一 愛媛縣治一覧表　明治十一年十一月出版　全

愛媛縣庶務課編輯
一 愛媛縣管内全圖
此圖ハ前ノ一覧概表ニ附属ス

一 愛媛縣藏板
一 愛媛縣管内地圖　前回ニ改正ヲ加ヘ紙面ヲ廣メシモノト思ハル　明治十七年三月出版　全
十四年
一 愛媛縣統計概表　一冊
右不用ニ付太輔ヘ遣ス送ル
一 高知縣土佐地誌　一冊
一 四國全圖　一枚
一 高知縣勧業年報　三冊合本
右不用ニ付太輔ヘ遣ス
十七年十二月廿六日　田芳

紙幟枚

高知縣土佐郡鴻部村能茶山ハ縣廳ヲ偏西ニ距ル二十町弱ノ邱陵ニシテ人家各處ニ點在ス其ノ裏陶器ヲ造ルモノ六軒アリ森田潤其一ニシテ縣下陶器製造家ノ嚆矢ナリ其製スル所ノ品種ハ黒皿、片口、半戸、植木物、水鉢、土瓶、砂陶裏、丸陶裏、鳥餌入、同水アビ、摺鉢、蓋壺、ヲロシ皿、重平、燈明臺、茶碗等ニシテ總テ土焼ナリ抑森田氏ハ宇田源氏佐々木三郎ノ兵衛光頼江州甲賀郡尾草御ノ内瀧村ニ住セシニ天文年間土州ニ下向ス然ルニ上野国片岡郡城主佐々木直綱ハ先キニ土佐ニ下向シ吾川郡徳光ノ城主ト成其ハ一族タルニ仍テ此城ニ入其後森

氏ヘ仕ヘ長岡郡廿枝村森田ニ移住ス因リテ姓ヲ森
田ト改ム森田鴨兵衛光忠元正十四年十二月豊後
国戸次川ニテ戦死ス弟右馬助光吉モ同所ニ死
ス森田新兵衛光治ハ秦ノ氏滅亡後高岡郡ニ住ス森
田源兵衛光氏山内家ヘ仕ヘ山方并代官役勤ム廿六ケ年
光氏老ス嗣子久右衛門光久四方養ト号ス江戸ニテ
山田清喜ニ従ヒ茶法ヲ学ブ是山内忠義ノ命ニ依レリ
承応二年大阪ヨリ久野正伯ヲ聘シ其ノ門ニ入リ尾戸
焼ヲ初ム亦旧主ノ命ニ基ケリ当時遠州公ヨリ焼物
ノ注文アリ延宝五年春土佐国幡多郡中村ニ山内
右近大夫様ヨリ陶器被申付中村ニテ製造ス同六年

江戸表ヘ被召寄御大老酒井雅楽頭様同日向守様
京極備中守様河部対馬守其外御老中様御一門様方
御前ニテ細工仕所々ヘ被召出元禄四年茶碗松平伊豫
守様ヘ為差上候処伊豫守様ノ返書ニ古キ高麗ニハ御
坐有間敷ヤ今渡ノ高麗ヨリハ見事ニ焼ケ申ト御沙
汰ノ趣高知城内ヘ被召出御意ノ御褒詞拝受致候
也二代森田光長三郎兵衛（男ノ直養）享保十二年十月卒
三代同光福宝暦四年五月卒四代仝光次享和三年八
月卒五代仝光為文政十一年卒森田信為六代仝光繁
嘉永五年卒七代仝光全ニシ閏ハ即第八代ニシテ今ヤ
東男田中公閣下偶然臨観セラレ土瓶ノ為製品

山縣覚平殿[illegible]
佐國吉作郎
本発村

高麗蝦仁
鮑魚条
炒蟹粉
葛仙米湯

數十個ヲ購ヒ一旦素焼ノ掛花瓶ニ馳毫セ
シハ随行員山口正徳楢本槃中島親興是實ニ
明治十七年歳甲申ニ在ル六月四日ナリ
帰後酒有リ爆ナ酔正徳識而成文矣

數十個ヲ備ヘ且素焼ノ掛花甁ニ毫毛モ
一ハ隨行員山口正憲柳本繁中島親興是實ニ
明治十七年歳甲申ニ在ル六月四日十リ
帰後酒有リ醉テ醉正臣識西成文氣

菜單

清湯全鴨
十錦海參
清湯魚肚
海帶扣肉
鷄粥魚翅
炒魚片
高麗蝦仁
鮑魚絲
炒蟹粉
葛仙米湯

東京大学総合図書館

商を

以て

國を

而たる

満國

農を

假令を實に一村の年々土地より生ずる所の穀

小野梓

玄魚絲
蜜汁明骨
八宝飯
杏仁湯
小菜
松沙様

十八年九月十七 [illegible]君招 [illegible]集 [illegible]之

[illegible]

農商辨

神田孝平述

商を以て國を立れバ其民常に富ミ農を以て國を立れバ其國常に貧し東方諸國ハ農を以て國を立て西洋諸國ハ商を以て國を立つ故に東方諸國ハ常に貧しく西洋諸國ハ常に富足り商を以て國を立るの利三つ農を以て國を立るの害三つあり請ふ試に之を述ん假令ハ爰に一村あり年〻土地より生ずる所の物

千金の値なり其物にて種々の品物を製造せる時ハ必ず二千金の値となるべし次に又其品を他邦に運送して有無貿易せる時ハ其利を合て必ず三千金となるべし初め其物を地より取りしハ農の力にて次に製造して品物となせしハ工の業又其次に運送して貿易せるハ商の業なり故にひとしく十金の運上にても農より之を收むれバ百金工より之を收むれバ二百金商より之を收むれバ三百金なり故に聚斂をなして租税を増し下苦まずして上富むべし商を以て國を立るの利是其一なり

金花堂

又假令ハ二千金の物を運送して西方に至り有無貿易せる時ハ其利必ず三千金を得べし再び其三千金を資として西方の物を買ひ南方又ハ北方に至りて貿易せる時ハ其利四千金又ハ五千金に至るべし右のごとく四方に轉じて貿易せる時ハ其利際限なし故に一度貿易せる時ハ其運上三百金となり二度三度と貿易せれバ四百金五百金となり四方に轉じて貿易せる時ハ其運上も又際限なし商を以て國を立るの利是其二なり

江州の商人某國中至らざる所なし而して其貨物

を江湖に廣く示さハ他邦の物を買く他邦に賣
るなり他邦の人商法を知らざ故に江湖て商人
其間に居て獨り利を專らにすることを得たり外國
商船の來舶するものを見るに其載る処自國の品
物に限らハ就中漢土の品多し蓋し漢土の品を載せ
く我邦に至り 我國の品を載せて漢土に至るなど
我邦と漢土とハ僅に三百里許りの距離にて萬國
よりも見れハ近隣と云べし然れども何れも商法を
知らざる國なる故に千万里の遠方より來れる西洋
人の為に利を奪はれて之をも如何ともすることなし

金花堂

知らハ悪しきに至りてハ貿易の說を唱ふる者を
憎み力を尽して之を拒まんと欲す何等の故
を知らハ
又商を以て國を立る時ハ農より租稅を収むるに及ばん
故に農業の利潤夥しく餘稅磽确の地までも耕し
て利ある故に山野開け產物增し其値も下落を
つし左すれハ工商の為にも亦利なるべし農工商
既に盛にして國の盛なるハ何れ商を以て國を立
るの利是其三なり
當今土地開けたりといへども旧來の農法にて

東京大学総合図書館

極度に至りたるのミ今まし商法残閉ひ悪く
農税を省うハ吹上何程開くるら量うて了し
恐くは山谷の間りまて満ちに至るべし
商法にて国残立つといつは早合点にて考えんどふ
やふ農を廃さるやと為すふ人もいる途しされて
中にた

総論

田畝の耕作と蔬園の培養とは人類の生活に於ては
最大切なる職業にして一日も欠く可らずことは我
等が説を待たずして知る所なり
総令ハ古の業の最古き説に於て定論なしと我も我
等今日に於て確然決定なす所し然とも菜園の務を耕作
に比すれば至て容易けりとは其故は菜園の務は人生
の底味なる腸子の食品上の嗜欲を飽しむるの
人の材智を以て成る者にして我等今熟視するにあらし
故に菜園の務は僅の材智を以て成る者なれども人生に於て

最も遅てわたり
蔬園の学に於て人差し之を貴奨して　簡便実易の術と世
と雖も　其務は高上にして　多の注視を要せり　其園の
務は園に生ずる　先と雖も　諸多の目的　旧例を以て行
ふべきとく　雖も　出精を以て菜子の術と云ふべし
培養即ち　十分に成長せしむるに　肥沃の方　出精したる勉免の方
栽培を成べきたけ　手げるるに　各地の用ゆる　要用なる方　植物を
適宜に入るる方　地の性に従ひ其の　此温度の　擬の方　等に至り
今此に　耕作人が　菜園芸術を学ぶ子の一段を示せ

津軽魔岡
掘出之壺
弘前
長尾氏所蔵
之を贈く
七拾年昔伯留者
其地より掘来
此年の前年掘出し以八旅中へ　携え　墨ノ図ヲ写したり

横径
三寸八分
高サ
三寸八分
据りい
四寸ちし

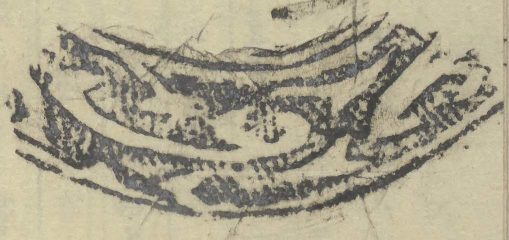
同 附屬 品形雛形 四十一圖

小學品形約言 圖入 上一冊

定價壹圓四十銭

明治十年八月

東京内藤新宿北町十六番地 静里園 敬白



壜ノ肩ニ文アリ 摸様ハ右ノ如シ

右品ハ長慶ノ [illegible]

田中芳男記

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館